

緑のセンターたより

NO.120 平成21年3月1日発行

発行元: (財)札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

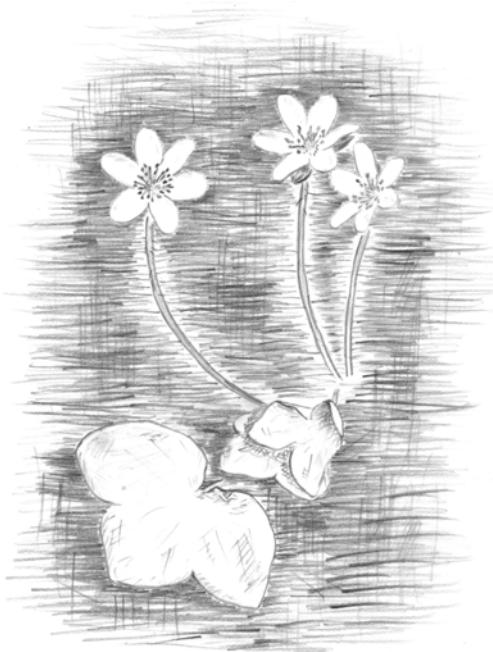
ミスミソウ

Hepatica nobilis var. *japonica* キンポウゲ科 ミスミソウ属

ミスミソウ属は北半球の温帯に約8種が分布する常緑の多年草で、日本のミスミソウ属は分類上ヨーロッパ原産のノビリス(*Hepatica nobilis*)の変種です。属名の*Hepatica*はラテン語の肝臓(Hepar)を、和名のミスミソウは三角形を意味し、いずれも葉の形に由来しています。

ミスミソウは、雪解けとともに可憐な花を咲かせる事から、園芸上「雪割草」という愛称で古くより親しまれていますが、植物学上の「ユキワリソウ」はサクラソウ科サクラソウ属のプリムラ モデスタ(*Primula modesta* Bisset et Moore)という別の植物の和名です。

ミスミソウは本州中部以西、四国、九州北部に分布する常緑多年生草本で、主として落葉樹林帯に生えています。高さは10cmほどで、根茎は長く、葉が特徴的で、長い葉柄の先に三角形の葉をつけ、3つに中裂しています。葉は全縁で先は尖っていますが、その程度にはバラエティがあります。



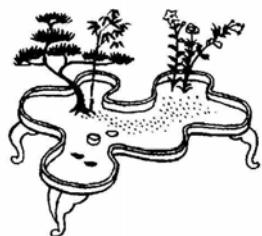
花茎は根生葉の葉腋から出て、先端に2cm前後の花を咲かせます。花には花弁は無く、花弁のように見えるのが萼片で、萼片のように見るのは茎葉です。萼片の形は披針形を中心に、幅の広狭、先が尖るもの、平らなものなどがあり、数は6~10枚と変異があります。色も白、淡青色、淡紫色、淡紅色と、変化があります。

ミスミソウ属の分類には色々な考え方があるようです。一般に、本州中部以西、四国、九州北部に分布する葉の先端が尖っているものをミスミソウ [*Hepatica nobilis* var. *japonica* Nakai]、本州、四国に分布する葉の先端が丸みを帯びたものをスハマソウ [*f. variegata* (Makino)Kitam.]と分類していますが、両者の中間型もあって、近年はこれらを全部含めて「ミスミソウ」と呼んでいます。

山形から北陸にかけての日本海地方に分布する葉が大型のものをオオミスミソウ [*f. magna* (Hiroe)Kitam.]、他には、本州の近畿以西と四国に分布し、葉の両面とも有毛で、裂片が丸いケスハマソウ [*var. pubescens* (Hiroe)Kitam.]と呼ばれているものがありますが、これは染色体数にも違いがあるそうです。

スハマソウの名は葉の形が祝いの席に飾る島台の「洲浜台」に似る事に由来します。

日本に自生する上述のミスミソウ類は、一般に太平洋側のものは白色が多く、日本海側のものは花色に変化があるものが多く、はなはだ変異性に富み、は種すると様々な形質のものが出てきます。園芸的にはオオミスミソウが優れ、多彩な色合いの花が出現します。このような変異個体の中から多くの園芸品種が栽培され、雪割草と呼ばれ江戸時代から現在に至るまで、数々の品種が作り出されました。(T.K.)



〔すはまだい〕

3月の園芸

このコーナーの園芸作業は札幌地方での目安です。
ここに掲載した以外の作業もたくさんありますので、
ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問い合わせください。

緑の相談受付 10:00~12:00、13:00~16:00

☆豊平公園 811-9370 月曜以外毎日

☆百合が原公園 冬期は受け付けておりません

☆平岡樹芸センター 冬期は受け付けておりません

◆果樹類の冬期剪定

最近は果樹類を庭に植えている家庭が増えてきているようですが、あまり収量があがらないか、とれたとしても満足なものでないという話をよく聞きます。果樹類は適地適作適品種、肥培管理、整枝剪定、病害虫の防除などが適切に行われないと良い実を収穫することはできません。特に剪定と病害虫防除は省くことのできない大切な作業です。そこで今月は果樹の剪定についてのお話をします。

【剪定の目的】

目的の一つは畠の大きさや作業の利便性から一定の大きさに達したらそれ以上大きくしないため、もう一つは樹冠から中心部まで陽光がよくあたり養水分が均等に配分され樹勢を保つつ病害虫の発生し難い環境を作り、防除や収穫などの作業性を良くするためです。

【剪定の時期】

果樹類の剪定は冬期と夏期に分けて行います。冬期剪定は一般的落葉果樹の場合は3月上旬~4月上旬の圃場の雪が固まってぬからなくなった時が好機です。厳冬期は切り口が凍結して枯れ込むことがあるので避けましょう。ブドウは秋落葉してから雪が積もる前に行います(緑のセンターだより平成15年11月号参照)。

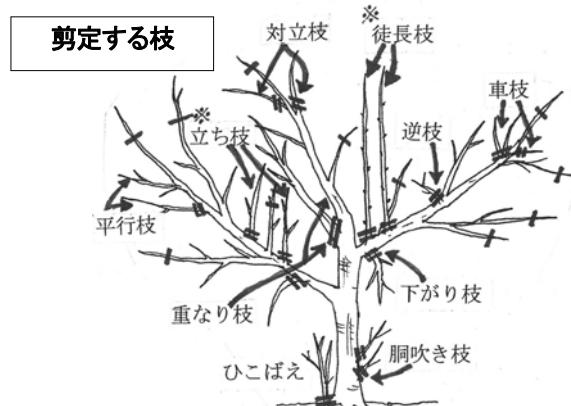
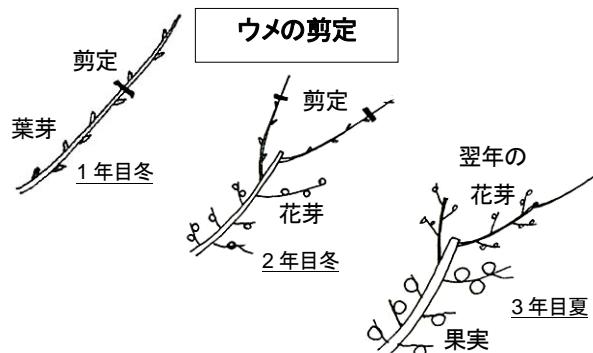
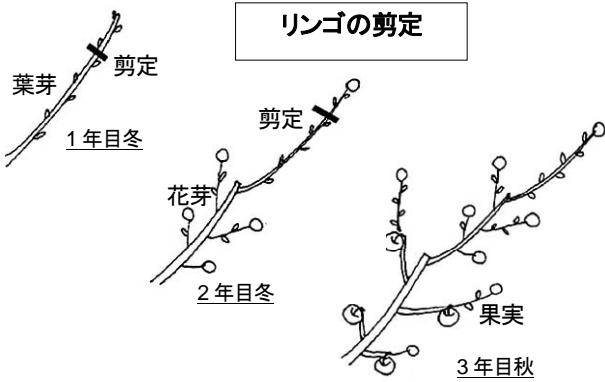
【冬期剪定の方法】

家庭果樹は種類、樹齢、大きさ、仕立て方が千差万別で僅かな紙面で記述することはできませんが、要約すると剪定をする目的を充分に認識してそれぞれの木に相応しい状態に剪定することです。

剪定する枝

- 徒長枝、弱小枝
- 立ち枝、下がり枝
- 風雪害などで折損した枝
- 枯れている枝
- 病害虫に侵された枝
- 混みあっている枝を間引く
(充実した結果枝を残し花芽の無いもの、少ないものを間引く)
- 車枝、平行枝を間引く
- 重なり枝、交差枝を間引く
- 極端に伸び樹形を乱している枝は切り詰める

1.5cm 以上の太い枝は鋸で、細い枝は良く切れる剪定鉢で剪定し、太目のものには切り口に防腐癒合剤を塗ると良いでしょう。



※徒長枝は太く勢いよく上に伸びた枝。
節間(芽と芽の間)が長い。
立ち枝はふつうの枝が上に伸びているもの。

◆たまねぎの育苗

たまねぎの育苗を始める時期になりました。育苗のポイントを紹介します。

育苗日数 55~60日間(本葉で2.5~3.5葉)育苗します。

作業暦

3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
● は種	▼ 定植				□□□□□	収穫

◎ 種子

新しい種子を使用する。
古い種子は発芽しない、発芽の勢いが悪いなど生育に大きな差が生じるので必ず新しい種子を準備。

◎ 品種

—オホーツク1号—

早生種、肉質はやや軟らかい、長期貯蔵に向かない

—ウルフ—

中生種、肉質はやや軟らかい、長期貯蔵に向かない

—札幌黄—

中生種、甘み強く美味、肉質は軟らかい、長期貯蔵に不向き、病気に弱い

※「札幌黄」の種子が手に入る方は、食味の良い幻の品種に是非挑戦を！

◎ 温度

発芽温度:15~25°C(高温に過ぎると発芽が悪くなる)

生育温度:15~20°C(長期間9~15°C以下にすると花芽形成)

地温:12~20°C(床土温度が低いと根の生育が悪化)

◎ 蒔き床(床土)・肥料

①自分で作る場合は通気性、保水性、排水性の良い床土を心がける。

床土10リットル当り化成肥料(N10%、P10%、K10%のもの)

10g、苦土石灰 10g(床土のpHにより加減)、過リン酸石

灰 20gをは種1週間前に混和して床土とよくなじませる。

たまねぎはリン酸を多く要求する作物で、特に育苗中のリン酸不足はその後の生育も悪くなるので化成肥料の他に必ず過リン酸石灰を施用する。

◎ 病気の危険が少ない市販の野菜用園芸培土を使う

市販の園芸培土は肥料が含まれていることが多いので、含まれている肥料の量と必要量の計算を行い、追加肥料を加減する。

※ チップ肥料のやりすぎは苗を弱くするので自家、市販培土とも基準量以上施用しない。

◎ 種まき(は種)

プランターに5~6cmの間隔で、種が重なり合わない程度に条蒔きする。

蒔く間隔を狭くすると苗が弱くなるので、密にならないように注意する。

上に掛ける土(覆土)は厚さ1.0~1.5cm程度で、厚くしない。厚くすると軟弱な苗になる。

◎ 水やり(灌水)

灌水はは種の2~3日前に行い、ビニル被覆し蒔き床の地温を確保しておく。

は種直前の灌水は床の温度を下げるので良くない。

は種直後の灌水は、床の温度を下げ、土の表面を硬くし、カビ発生の原因になるので行わない。

発芽後~本葉2枚出始めまで乾かし気味に管理し、根の発育を促す。この時期に過湿になると立枯病、カビが発生する。

◎ 作業順序

床土準備 → 肥料混和 → プランターに床土を詰める → は種2~3日前に灌水しビニル被覆する → は種・覆土・ビニルを掛ける(ビニルマルチ) → 発芽50%程度の時にビニルをはがし軽く灌水して発芽を揃える。

◆ Q & A ◆

Q

近年、食の安全性が問われていますが、遺伝子組み換え食品についてお教えください。また、遺伝子組み換えとはどんな技術でしょうか。(手稻区 M.K.さん)

A

遺伝子組み換え食品は「害虫に強い作物を作りたい」、「たくさん実がなる作物を作りたい」などの目的で、遺伝子に手を加えて元の生物に戻したり、改良しようとする作物の細胞に組み込む技術を使って作られたものです。

遺伝子組み換え技術は農作物なら育種期間を短縮できるなどの利点がありますが、現在、日本ではこれを使った栽培は行われていません。アメリカやアルゼンチン、ブラジルなどでは大豆、トウモロコシ、綿、ナタネなどが作られています。

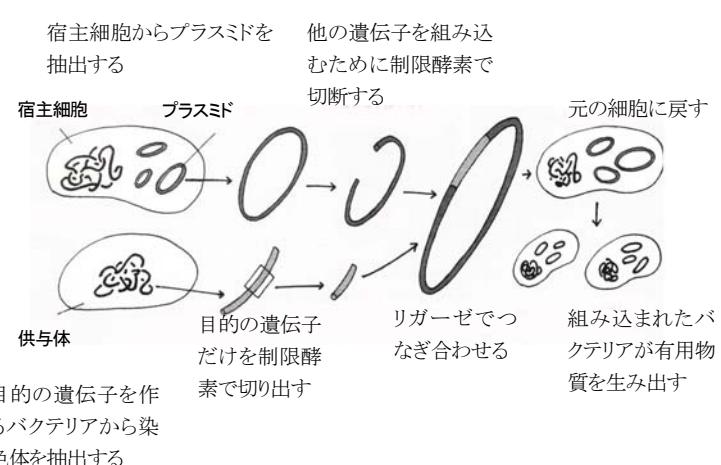
遺伝子組み換え食品の安全性については「安全だ」という意見と、「まだ不確実では?」という意見があります。ちなみに、日本の輸入食品の安全性は食品安全委員会で審査されており、安全性が認められたものののみ流通できるしくみになっています。食品表示の面でも加工食品が対象で「遺伝子組み換え」の表示が義務付けられています。

遺伝子組み換えについて、イラストで少し具体的に説明しましょう。簡単にいと、ある生物からDNAを分離して他のDNAに組み込むのです。

遺伝子組み換えを応用して実用化されているものに、糖尿病の治療薬としてのインシュリンや成長ホルモンなどがあります。

しかし、遺伝子組み換えは大きな利益をもたらす技術ですが、反面危険なことが起こらないとも限りません。人間にとって有用なものを作り出すつもりが、有害なものとなる可能性がないとは言い切れません。したがって充分に慎重に取り扱う必要があるでしょう。

遺伝子組み換えのしくみ



3月～4月上旬の催しのお知らせ

豊平公園緑のセンター 豊平区豊平5条13丁目 TEL 811-6568

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
園芸教室				
クリスマスローズの育て方	3/8 (日)	13:30～	2/11～	無料
果樹類の剪定と病害虫予防	3/14 (土)	10:00～ 13:30～	3/11～	〃
サボテンの春夏の管理	3/29 (日)	13:30～	〃	〃
家庭果樹の楽しみ方	4/15 (水)	13:30～	4/11～	〃
展示会				
クリスマスローズ展	3/3 (火)～8 (日)		協力：八紘学園、花工房夢織	
ボタニカルアート展	3/17 (火)～29 (日)		協力：さっぽろ植物画同好会	
クンシラン展	3/24 (火)～29 (日)			
クラフト講習会				
アレンジ押花講習会「ネームシール」	3/20 (金)	10:00～	3/11～	1,500円
スライド上映会				
山野草スライド上映会	3/22 (日)	13:30～	3/11～	無料
世界の植物スライド上映会	3/28 (土)	13:30～	3/11～	〃
コチョウラン植え替えサービスデイ	3/15 (日)		お客様のご家庭のコチョウランを、緑の相談員が植え替え実演しながら、解説いたします。 3/11から電話でご予約を承ります。 (参加費：材料費実費のみ)	

百合が原緑のセンター 北区百合が原公園210 TEL 772-3511 <http://www.sapporo-park.or.jp/yuri/>

園芸教室	日	時間	申込受付開始	参加費
ツバキの育て方	3/15 (日)	13:30～	2/11～	200円
展示会				
アザレア展	2/10 (水)～3/8 (日)		入館料 130円	
ツバキ展	2/24 (火)～3/22 (日)		〃	
洋ラン展	3/17 (火)～22 (日)		〃	

その他の公園のイベント

公園	イベント	日	お問い合わせ
西岡公園	子りす工房～おとなの日～ 木の実で作るおひな様	3/12 (木)	西岡公園 011-582-0050
豊平川さけ科学館	サケたちのエサやり体験	3/14 (土)	豊平川さけ科学館 011-582-7555
〃	イトウのおなかにさわってみよう！	3/28 (土)	〃

豊平公園 緑のセンター 公式ウェブサイト <http://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/>

※「緑のセンターだより」バックナンバー公開中 ※